

平成 29 年度 国際交流センター事業報告書

国際交流センター長 吉重 美紀

I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

1. 本学のグローバル化推進のため、米国オレゴン(8月)、ハワイ(3月)への短期語学研修を実施し、またオーストラリアの留学・派遣先の開拓を始めた。アジアでは交流協定校の一つ中国の上海体育学院への短期研修へ学生を引率した。
2. 外国人留学生対象の日本語教育において、外部試験(筑波大学が提供する)J-CAT を利用した日本語プレイスメントテストを始めた。
3. 学内の共同利用施設としてだけでなく地域および社会に貢献するため、LL2 教室改修を継続し、センターに広報用の掲示板 3 台を追加した。

II. 事業報告

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト

- ① 米国オレゴン、ハワイの短期語学研修プログラム等を実施し、参加学生の指導を行うとともに、センターと財団から学生(3名)に参加費補助を行なった。(吉重・エルメス・国重)
- ② 国際交流係と連携し、学生 10 名の上海体育学院への短期研修(9月23日～9月27日)を引率し、学生の指導にあたった。(竹下・吉重)
- ③ 語学研修プログラム開発・構築に向け、オーストラリアのシドニー大学、周辺の研修活動候補地等を訪問し、相手先の担当者とプログラム開始に向けた話し合いをした。(国重・エルメス/平成 29 年 12 月 5 日～11 日)
- ④ 留学相談ウィークを前期：6月19日～22日(南日本カルチャーセンター・留学サポート鹿児島が参加)、後期：11月6日～10日(ハワイ語学研修説明会など)実施した。前期(6/19)に講演会(宮原氏)を実施した。
- ⑤ 国際交流係と連携し、11月24日留学生支援交流会を実施した。
- ⑥ 本学のグローバル化を推進するため、広報用の掲示板を 3 台設置した。
- ⑦ Facebook 等利用による留学生関連事業の広報、および帰国留学生のネットワーク体制を充実させた。(中村)

2. 教育プロジェクト

- ① LL1 教室パソコンのハード保障を 1 年延長し、CALL システムを活用した。
- ② LL2 教室改修を継続し、アクティブ・ラーニングに必要な可動式椅子 5 脚、AV 機器用ラック、新しいアンプ等備えた。
- ③ 英語プレイスメントテストを実施(平成 29 年 4 月 3 日)し、クラス分け、平成 29 年度入学生の英語力分析等に活用した。
- ④ 2 年生のアチーブメントテストとして英語 TOEIC IP テストを実施(平成 29 年 12 月)し、データを学生の英語力分析に活用した。
- ⑤ A0・推薦合格者に対する入学前教育(英語)による教育効果について、アドミッションセンターと検討し、今後も継続して実施することとなった。
- ⑥ 派遣学生(トビタテ留学 Japan、交流協定校、TSI 等)の指導をした。
- ⑦ 留学生対象日本語プレイスメントテストを秋から(10月6日)J-CAT を利用して実施し、日本語補講のレベル分け等に活用した。
- ⑧ 留学生対象日本語補講(前期・後期)を開講し、また外部講師の希望教材等も揃え日本語教材を充実させた。
- ⑨ 留学生オリエンテーションを前期 4 月 24 日、後期 10 月 18 日実施した。
- ⑩ 留学生チューター研修会を前期 4 月 25 日、後期 10 月 18 日実施した。
- ⑪ 「いんぐりっしゅ☆る～む」を学生および教職員の希望者対象に開催全 13 回実施した。

⑫ TOEICIP テストを5回実施し、財団による受験料補助により成績優秀者6名に補助金を授与した。

3. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- ① 教員免許状更新講習「Rediscovering the Power of English—英語に対する見方を変えてみよう！」を7月29日開講した(国重・エルメス)。
- ② 公開講座「Easy Storytelling—自分の経験などを英語で語ってみよう！」を5月10日(水)～6月14日(水)全5回開講した。(国重・エルメス)

III. 決算報告

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト関係

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	38千円	異文化講演会(6月)謝金
物件費	0千円	
その他	0千円	
計	38千円	

2. 教育プロジェクト関係

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	153千円	新LL2教室説明会講師謝金、留学生教育および教育機器関連会合旅費
物件費	1,003千円	LL1のウィルス対策、修理およびLL2教室整備 英語教材、英語多読図書、留学生の日本語教材、図書
その他	1,332千円	英語テスト(新入生4月、2年次12月)実施 LL1教室の保守点検、保守延長費
計	2,488千円	

* 教育プロジェクト①②③⑥については、重点プロジェクト経費より支出

3. その他

区分	金額	備考(使用内容)
人件費	0千円	
物件費	101千円	ニューズレター発行、コピー用紙、ファイル、ゴム印等
その他	26千円	郵便料、小荷物運送料
計	127千円	

IV. その他

1. 発刊物

国際交流センター(IELEC)ニューズレターNo. 34を発行(11月)した。

2. 開催会議状況

センター会議を4/25日、5/30日、6/27日、7/25日、10/11日、11/1日、12/4日、1/15日、2/13日、3/22日開催した。

3. 広報活動

- ① センターのニューズレターを県内高校、国内大学等機関、海外の交流協定校へ郵送した。
- ② センターのFacebookを利用し、センター事業の広報に努めた。
- ③ 海外引率時や学外受講者対象の講座等で、ニューズレター等を配布し広報につとめた。

4. センター利用促進策の成果

改修を終えたLL2教室の利用促進のため、8月に講師を迎え教室の機器等の説明会を開催し、英語以外の授業でも活用されている。